



ここが凄いです！

家だけではなく、オリジナル家具にも力を入れています。

ショップ巡りをしても、なかなか新居に馴染む家具を見つけることができないという声をよく耳にします。四季工房では家づくりだけでなく、暮らし方も大切に考えていますので、「良質な暮らしには良質な家具を」空間に一番合った四季工房オリジナルの家具をおススメしています。オリジナル家具は、北海道の家具作家「ニングル」さんが一点一点丁寧に作っていますので、既製品や大量生産品にはないクオリティーと温もりがあり、家と同様に受け継ぐことができる宝物になること間違いなしです。新居の完成と同時に家具も設えられ、新生活をスタートできることからお客様に大変喜ばれています。



● 家具調オリジナルキッチン
KURIYA



● オリジナルテーブル&チェア
りらく

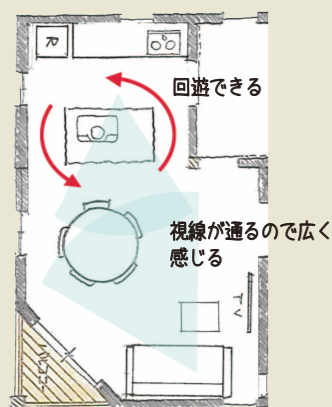


Instagram : wssa_jp

オリジナル家具は各展示場やショールーム、セレクトショップ WSSA でご覧になれます。

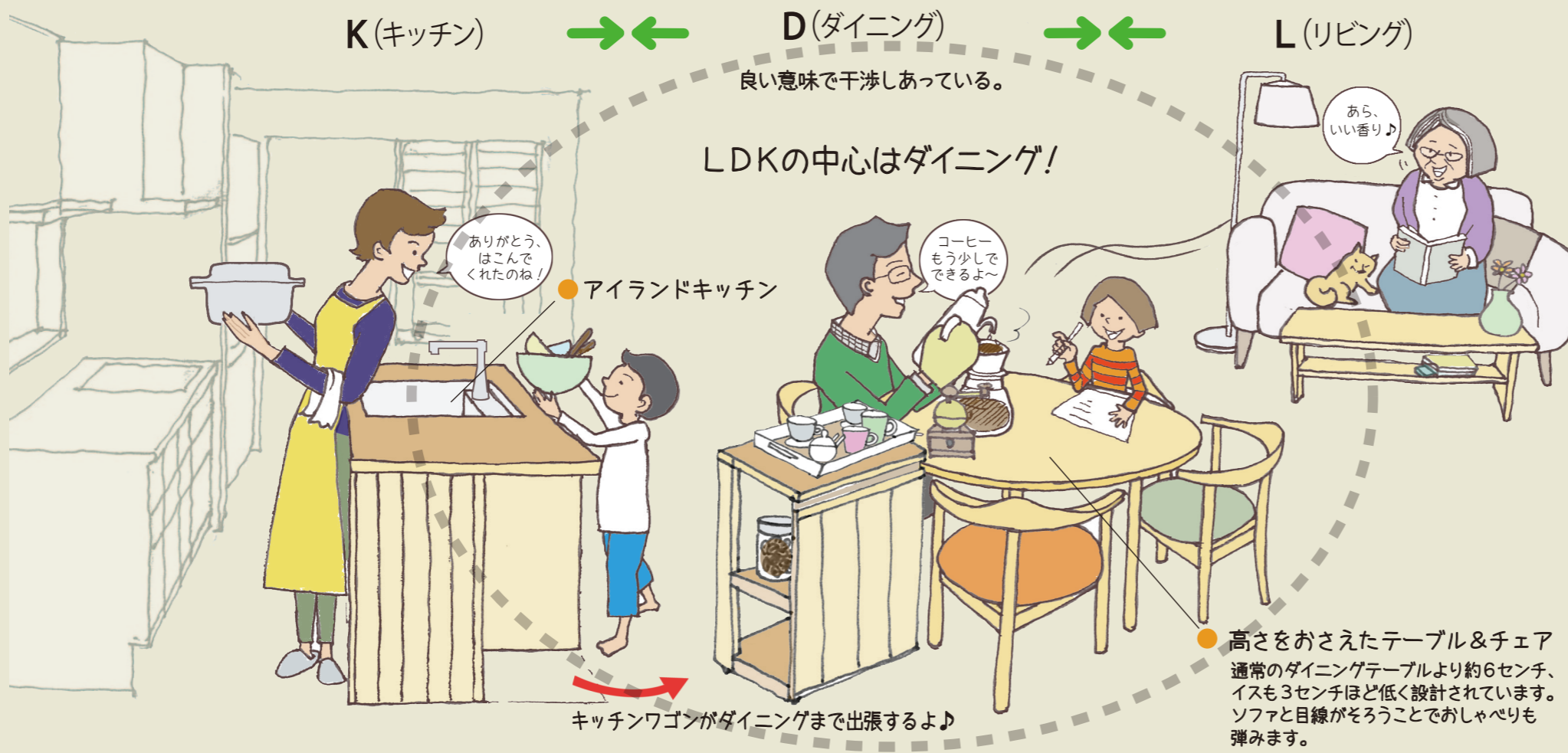
四季工房の家にお住まいのOBさんにお話を訊くと、リビング・ダイニングに居る時間が圧倒的に長いとのこと。それは四季工房の家の特徴でもある「広がり間取り」= 家族が集う、子供を孤立させないなどの視点から考え抜かれたプランに因るところが大きいです。リビングを必ず通って各室へ行く動線が計画されていたり、連続した間取りや吹抜によって、実際の坪数以上に広々と感じられる居心地のいい空間になっているからこそ、LDKに自然に集まってくるのだと思います。そして今、LDKの中心はリビングよりもダイニングです。その理由は…

— 居心地の良いダイニングになってしまった理由 —

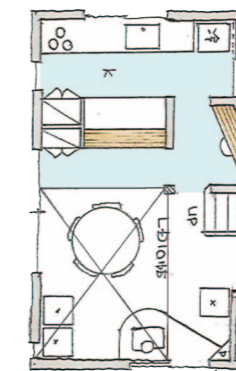


其の一、キッチン^{こしつ}を孤立化しない・参加型キッチンによるオープンな関係
 かつてキッチンはお母さんが一人で家事をする閉鎖的な場所でした。やがて対面キッチンが主流となり、少しだけダイニングとのつながりが出来ましたが、リビングから見ると、まだまだ壁の向こう側のような印象が否めませんでした。そこで、ダイニングとの間の壁をなくし、アイランドキッチンを設置すると、ダイニング・リビングとの一体感が生まれました。オープンなつくりは、楽しい会話が増え、食事の準備や片づけに自然と家族が参加するようになります。

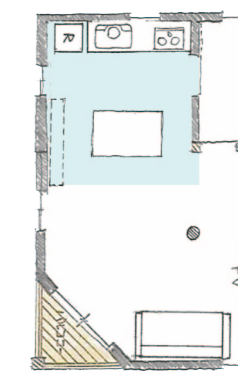
其の二、ダイニングがほんの数センチ低くなるだけでくつろぎ度が200%増し！
 テーブルとイスの高さを低くおさえることで、圧迫感が減り、空間が広く感じられます。ソファでくつろいでいるかのように庭を眺められたり、見わたせる景色が変わります。子供にも座りやすく、宿題などはダイニングで済ませてしまいます。



家族構成やライフスタイルによってキッチンの在り方もいろいろ。つねにダイニングやリビングとのより良い関係を考えながら提案していきます。



対面キッチン？セミクローズ？
 家族の様子を見守りながらも料理に集中したい、洗い物は見られたくないという方には、この欲ばり型？がおススメです。



ダイニングキッチン^{ダイニングキッチン}の原点回帰
 こういうシンプルなものもありでは？ワイワイ料理を作ったあとは作業台がダイニングに早変わり。ハイチェアを並べてオシャレなバーカウンタのように使うことも。

※次回 11月号は「薪ストーブ」について特集します。